

令和4年度 県立神戸高塚高等学校 学校評価【職員アンケート】結果

A:よくあてはまる B:あてはまるC:あまりあてはまらないD:あてはまらない E:わからない を選択する。

評価の観点	番号	評価項目	平均	評価	コメント	自己評価、今後の方策
開かれた学校づくり	1	ホームページや学校通信、保健だより、図書館だよりを定期的に発行し、情報を発信することができた。	2.97	B	取り扱う内容にもよるが、プリント配布とWeb利用との両方で発信するのが良いのでは？◎1学年としては、HPをあまり更新することができなかった。◎大切なこと	学校HPやロイノートの活用に努めていく。また、オンライン授業を見据えてTeamsの活用幅を広げていくとよい。
	2	行事や部活動等を通して、地域社会や地域の中学校等と積極的に交流し、連携を取ることができた。	2.69	B	コロナ禍にあって積極的な交流が難しいが、もう少し職員の意識高揚や全職員での取り組みがあれば更なる工夫ができるのでは。◎コロナで交流などのイベントは難しいのでは？◎1学年として、積極的に交流ができたとは残念ながら言えません。◎コロナ禍にありながらもやれる範囲でできていたように思う。◎課題が多い。	今後のコロナ感染状況を鑑みながら可能な限り充実させていく。
学力の定着及び進路保障	3	3年間を見据えて進路指導に関する年間計画を作成し、組織的、継続的に進路指導等が実施できた。	2.39	C	学年や学級運営と進路指導との連携以外に、各教科授業との連携や、学びに向かう姿勢面での強化、卒業後の生徒の望まれる姿など、全職員での議論の時期では？◎進路指導については、ほぼ学年任せで学校としての芯はありません。学校として統一すべきところ、学年の色を出してよいところの区別は明確にした方が良いでしょう。◎学校としての方向性を示してなさすぎる。◎高い理想や志と現実のギャップの埋め合わせが課題。	各学年および進路指導部との連携を密にし、生徒の進路希望実現という目標に向かって取り組んでまいりたいと思います。
	4	進路ガイダンスや面談等の実施を通して、生徒が具体的な進路目標を持つよう指導できた。	2.72	B	「指定校推薦が目標」では短絡的ではないか。その先のキャリアにつながる意識や、成熟した社会の一員として貢献できる人材になれるような意識づけが必要では？◎どの仕掛けがどれだけ効果があるのか等の分析はできていないと思います。◎学校としての方向性を示してなさすぎる。◎成果を期待して多彩に攻めるべき。	各学年の先生方は熱心に面談などに取り組んでいただいています。各学期の進路行事については学年との連携を密にして効果の向上につなげてまいりたいと思います。
	5	学力の定着を図るために、予習・復習などの学習習慣を身に付けさせることができた。	2.34	C	定期考査でさえ「ノー勉」で挑む生徒の姿が見られる。学習に向かう姿が当たり前の学校になれば良いが…◎学習時間の確保について、ICT機器を用いて習慣づけるような仕掛けはしていますが、なかなか身に付けさせることができたとは言えない状況だと思います。◎教員によって課題の設定にばらつきがある。◎個別指導が大切。	【教務】教科単位でなく、学年単位で週末課題(英数国で無理のない量など)を設定し、未提出の生徒には放課後取り組ませるなどの取り組みを1年生からはじめると、学習習慣が身につくと思います。 【1学年】スタディサプリを利用して、定期的な課題を課し、自主的に学習できるように促したが、学習習慣が定着している生徒は少なかった。やる生徒とやらない生徒の差が大きくなっている。勉強の仕方やなぜ勉強するのかわからない生徒が多いので、「探究活動の目的」をしっかりと伝えられるように指導したいと思います。 【2学年】主に、復習を培う課題を適切に与え、点検することにより定着度を見極め、学習指導に生かした。 【3学年】考査ごとに振り返りを行い、次への目標を持って取り組ませた。
	6	授業や補習・小テスト・課題などを通して、生徒の実情に合わせた学習指導ができた。	2.89	B	自分の授業では、タブレットやLoilo-noteの導入で生徒の実情がより見えやすくなったので、頑張り対応しているが…◎中学校の内容の学び直しを中心に、授業、テスト、課題等は編成しています。◎ヴィジョンが、大切。	【1学年】英単語テスト、漢字テストを実施しました。範囲が広すぎたかもしれませんが、スタディサプリやICT機器を利用して、新しい時代に対応できる力を身に付けさせたいと思います。 【2学年】国・英で定期的に小テストを実施し、学習意欲を高める工夫をした。 【3学年】年間を通じて生徒の実情に合わせて、補習等を行った。
	7	「総合的な学習・探究の時間」を計画的に実施することができた。	2.75	B	担当教員間の温度差があるのでは。3年間を通したプログラムになっているが生徒の中で積み重ねられているのかは不明。◎生徒の実態に合っていないので、徐々に改善を図っている途中。◎特色探究基礎は、学校の作業が入ったりして探究基礎よりも授業時間数が少なくなっています。プログラムとして時間が足りておらず、少し苦労しています。◎工夫の余地は大きい手が回らない。◎探究の授業は自分の仕事ではないと考えている教員が見られます。社会情勢も変わり、生徒に求められる力が変化している中で、探究で指導できる指導力を養う必要があると思います。	探究が、令和4年度(37回生)初めて3年間通して実施されました。そのプログラムを引き継ぎ、工夫や改善のしていけば次年度以降も計画的に実施できると思います。そのためには、何らかの形で総括が必要。計画的に実施するためには授業担当の人数が少ないと感じました。
	8	生徒が理解しやすい授業を工夫することができた。	2.86	B	タブレットやLoilo-noteの導入で生徒の実情がより見えやすくなったので、よりよい工夫につながっている。◎教員間での授業に関する学びあい、授業見学などが積極的ではない。◎ICT機器を用いて、新しい授業の取組をしているところですが、理解度をあげられるようにまだまだ工夫が必要だと感じています。◎チームとしてやらないと効果が半減する。◎時事ネタを含め興味関心を持たせることを心がけた。	授業アンケートを実施し、そのアンケート結果を授業改善に生かす。公使館の授業見学をより充実させる。
	9	ICTを活用した授業を実施することができた。	2.68	B	Loilo-noteをもっと有効活用できるようにしたい。◎「授業はiPadがないとうけられない」というほどに利用しています。さらに、効果的に利用できるようにしたいと思っています。◎力不足を痛感。	ICTを利用した校内研修を充実(実際に利用している先生の取り組みや外部講師による研修)させる。

令和4年度 県立神戸高塚高等学校 学校評価【職員アンケート】結果

A:よくあてはまる B:あてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない を選択する。

評価の観点	番号	評価項目	平均	評価	コメント	自己評価、今後の方策
人間性豊かな生徒の育成	10	服装・頭髪等、望ましい身だしなみを身に付けさせることができた。	2.79	B	制服の規定で男女差を無くしたのはとても良い。生徒もそのように感じているようだ。◎場面によっては、まだ完璧ではないと感じてしまいますが大半の生徒はできていると思います。◎指導する教員とそうでない教員の差が激しすぎる。自分の仕事とってない人が多い。◎全校的な取り組みの成果を感じる。	【生指】自主的な身だしなみの意識の醸成を念頭に指導して頂きました。 【1学年】グレーゾーンの生徒が一部見られ、基準がよくわからないところもあり、対応に苦慮しました。主・副主任で統一してLHR時にチェックをしましたが、生徒指導部と連携をお願いしようと思います。 【2学年】服装を整える意味や必要性を理解させ、継続して指導した。 【3学年】年間を通して身だしなみは概ね良好でした。冬季の上着のルールもきちんと守っていました。登下校時が課題だと感じました。
	11	挨拶や遅刻指導等を通じて、基本的な生活習慣やマナーを身に付けさせることができた。	2.79	B	コミュニケーション能力の自己評価を低く感じている生徒が、もう一步二歩踏み込めるような環境づくりを工夫したい。◎大半の生徒は挨拶を気持ちよくしてくれています。時間の管理については、まだ不十分な生徒もみられますが、少数派だと思います。◎指導する教員とそうでない教員の差が激しすぎる。自分の仕事とってない人が大荒れ。◎日常の大切さを伝えている。	始業時間ギリギリの遅刻は、減っていると思います。授業が開始されてから若干名遅刻をして登校する生徒が気になります。スマホとの付き合い方などの指導を模索したいと思います。
	12	清掃・美化活動への意識を高めることができた。	2.81	B	清掃も与えられた仕事はしっかりとこなしています。「自分から気づいて動く」ようにするには、まだ時間がかかるかと思えます。◎指導する教員とそうでない教員の差が激しすぎる。自分の仕事とってない人が多い。◎清掃担当箇所だけでなく、いつも気を配ることが大切。	自分には関係ないではなく、皆が自分で気づいて動けるよう呼びかけたい。
	13	生徒会・部活動等への積極的な参加を促す工夫ができた。	2.61	B	コロナ禍でもあるし、どうしても成果主義的な価値観を引きずりがちで、「積極的な参加を促し」づらい面がある。◎生徒会については、1年生から参加者が少ないということがあります。2年生になったら立候補するかもしれないという生徒はいますが、部活動があるので先行きは不透明です。◎学校は自主的な活動で活性化する。	活動の参加や時間を一律に制限し過ぎるのではなく、教育的、効果的に活動できる。また、各部の実態に応じてフレキシブルな活動や時間の設定ができる。それこそが自主的な向上心を持つ人格形成であり、部活動の本質であると考えます。今後、検討していきます。
	14	学校行事・ホームルーム活動などを通じて、生徒に協調性や社会性・計画性を身に付けさせることができた。	2.91	B	体育大会においても、行儀よく応援できていました。またクラスで団結して活動していたように思います。◎計画に方向性を感じられない。◎前年度踏襲だけでない工夫ができた。	文化祭、体育大会、球技大会など生指部主動の行事はコロナ情勢を鑑みて行なった。ホームルーム活動についてはそれらに連動して頂いた部分と、学年と他部との連動などで行いました。
	15	学校の実情に応じた防災避難訓練の計画・実施ができた。	2.77	B	緊急時の対応という面で未達成。身についているはずの防災意識や行動が実際に必要な場面で使えるかどうかの練習や検証が必要。◎火災発生時の放送は誤報である。と生徒は認識していると思われる。消防設備の点検と再発防止が長期にわたって(少なくとも1年は経っているはず)なされていない状況は有事の際の被害を拡大すると思われる。◎本気にさせられていない。	繰り返し訓練を行うことの重要性を感じている。従来の訓練に加え、避難後の対応について検証し、職員間で共通理解をする必要がある。緊急時や非常時の在校生とをどのように下校させるか(校内待機も含めて)具体的な取り決めが必要である。消防設備点検は毎年1回専門業者にて実施されている。
	16	人権ホームルームの充実を図り、計画的に実施することができた。	2.72	B	3年間の目標等については、あるのかもしれませんが、個人的に理解できていません。◎伝えっ放しになっていないか心配。	人権年間計画と報告を作成し、県教委に提出している。職員に周知してもらえよう報告する。
	17	人権、進路、生徒指導、カウンセリング等、学校の諸課題について校内研修を計画的に実施し、共通理解を図ることができた。	2.68	B	できているものとできていないものがあるように感じます。◎担当者の、ご尽力に頭が下がります。	担当部署で大変な労力を掛け、実施していただいています。事後アンケートの結果を、スムーズに次年度に引き継ぐことができればよいと思います。
	18	生徒の悩みの相談に応じて適宜個人面談等を行い、生徒の内面理解に努めた。	3.16	B	担任の先生方、保健室、カウンセリングとそれぞれの役割を果たしてくださっています。◎それぞれ工夫している。	カウンセリング等、生徒の心のサポートの更なる充実に努めたい。
	19	いじめのない学校作りに向け、アンケート調査等により早期発見に努めるとともに、未然防止や早期対応に向けて組織的に取り組むことができた。	3.03	B	アンケートの実施の、成果を感じる。	「いじめは、どの生徒にも有り得る。」との認識をもち、「いじめ防止基本方針」のHPへの掲載。いじめアンケートの実施を行った。子供が学校や親、友人に訴えにくいと感じない様な方策を意識し続けたい。
特色校化の	20	地域創造類型の特色ある教育活動を実施することができた。	2.25	C	担当教員任せにせず、もっと多くの教員が関わったり、学校行事等でもリーダーシップを発揮できる場をつくるなどさらなる工夫が必要だと思う。◎担当の負担が非常に大きいですが、道なき道を作ってくださり本当に感謝しています。◎力不足で手が回らない。	特色類型成果発表会の成功をはじめ、生徒の感想から大変充実した授業であったことがわかります。それらの授業内容がデータやファイル(紙など)で引き継ぐことができれば、コメント欄にあるような課題に対応できると思います。
働き方改革	21	勤務時間の適正化に向け、定時退勤やノー部活デー・ノー会議デー等に前向きに取り組むことができた。	2.26	C	業務の総量を減らさないと適正な勤務時間は守れない。教科指導等においても生徒の個に応じた対応やICT活用をするには増々時間が必要。◎突発的なことがない限り、勤務時間も適正なものになっていっています。◎仕事が多岐に渡り、片付かない。	○ 令和4年度においては、職員朝礼のGaroon活用、職員会議のペーパーレス化、アンケート調査のForms活用など、業務の効率化に向けた取組が一定の成果をあげていることから、引き続き情報機器を活用した業務改善を進めていく。 ○ 休日の部活動指導業務が一部教員の負担となっていることから、実効性のある部活動複数顧問制のあり方を検討し、業務量の均等化を進めていく。